

---

# ASEANのICT市場動向

## クラウド、データセンター

---

2013年11月01日

株式会社野村総合研究所  
コンサルティング事業本部  
ICT・メディア産業コンサルティング部

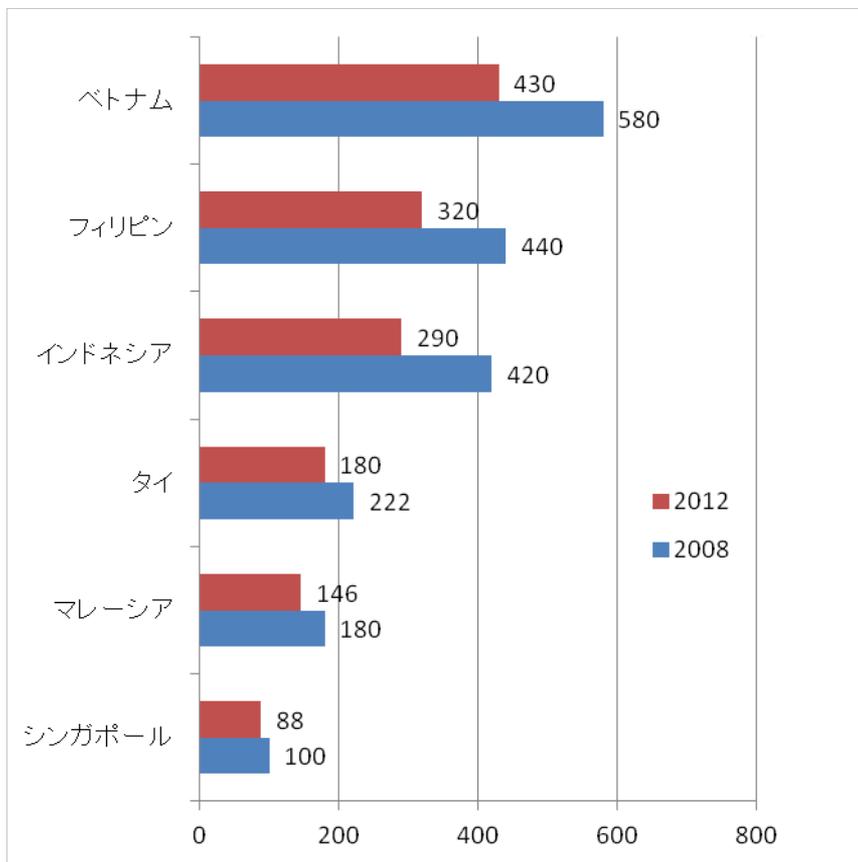
〒100-0005  
東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル

# ASEAN各国のIT市場動向(1)

・インターネット接続環境は都市部主体に整備が進むがパフォーマンス等に差異は残る。

## ネットワークコスト

(スループット/利用料金、法人インターネット接続とIP-VPN等の荷重平均。2008年シンガポールを100)



出所:NRI

■タイ、マレーシアは都市部では、シンガポールの5年遅れ程度にまで追いついている。

- 主要都市部をカバーした国内ネットワークは構築可能な段階に到達している。

■フィリピン、インドネシア、ベトナムについても、ネットワークのコストパフォーマンス改善は着実に進展しており、中期的な問題は見当たらない。

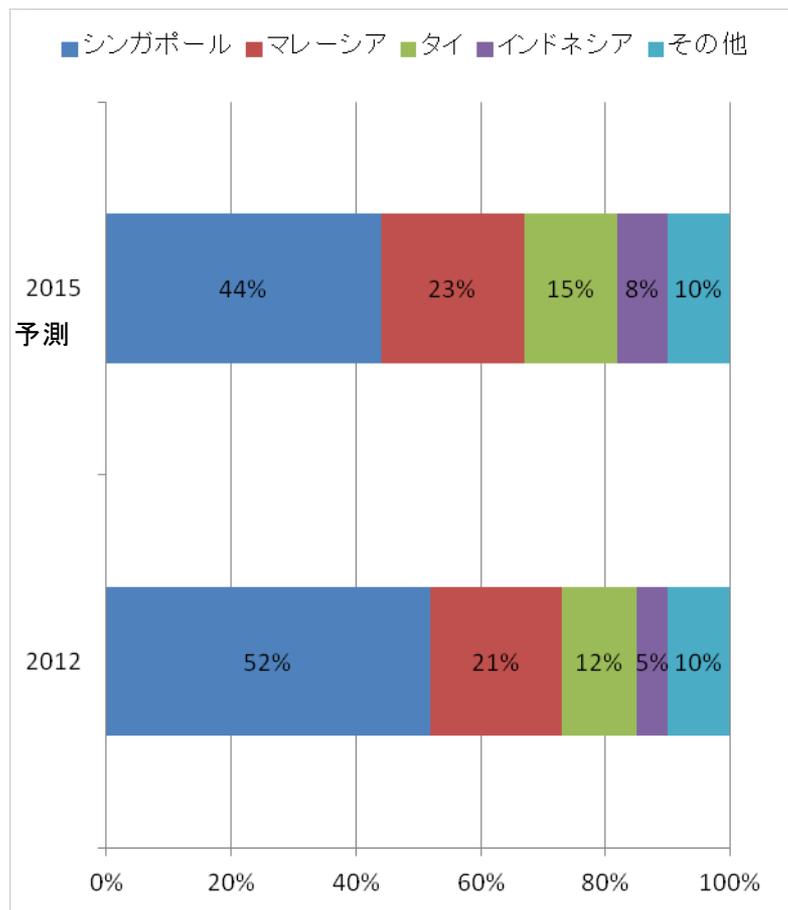
■ミャンマー、ラオス、カンボジアについては全国主要都市を対象とした域内ネットワーク構築には、3年程度の期間を要するという見方が多い。

■「ネットワークの課題は解決しつつあり、クラウド視点では、次はデータセンター側に重点」

## ASEAN各国のIT市場動向(2)

・シンガポールの優位性は磐石。近年はマレーシア、水害復興のタイのインフラ充実が注目される。ミャンマー等をにらんだタイ、ECやクラウド等で、独自の動きを進めるインドネシアにも留意する必要がある。

ASEANのデータセンタ面積シェア



出所:NRI

### ■シンガポール

東南アジア統括拠点としてのシンガポールでのDC集積は、2009年以降、更に強化が進んでおり、地域優位性、IT環境、DC設立への公的支援等には揺るぎが見られない。

### ■マレーシア

大規模施設の構築、運用体制が2010年以降、充実しており、主にIT事業者からの評価が高い。近年、シンガポール需要の受け皿として、急速にデータセンタ等が充実しつつある。

### ■タイ

水害からの回復を越えて、ミャンマー等の内陸向けハブとしての評価が高まっている。SIやアウトソーシングなど、DC設置とあわせた産業高度化も進展。

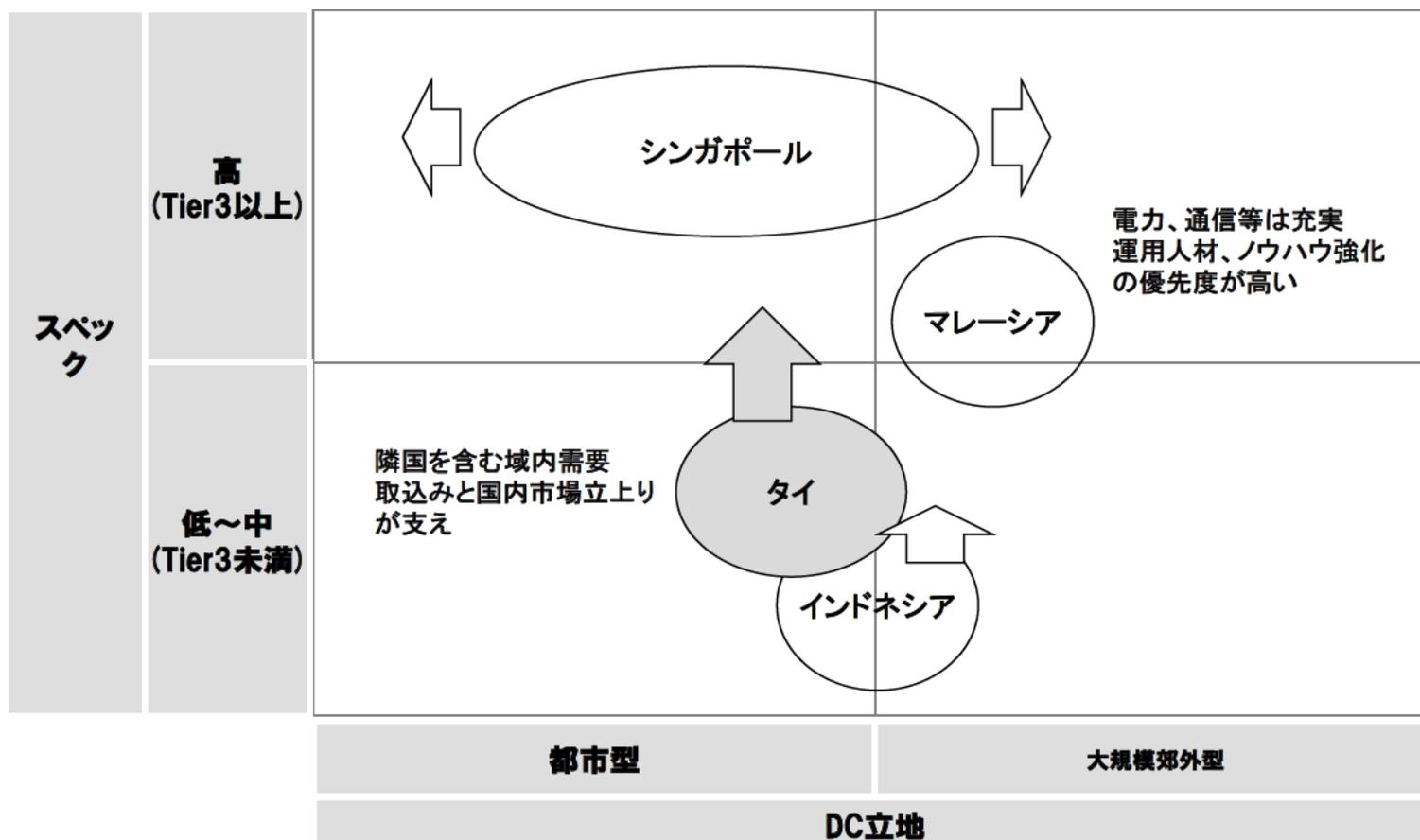
### ■インドネシア

国内需要規模を背景に、成長段階に入っているが、クラウド化へのデータ保護規制発言、MVNOライセンスなど、一部に混乱が見られており、域内主導権確保への勢いに欠ける。

# ASEAN各国のIT市場動向(3) 設備の現状

- ・シンガポールは、インフラ、運用体制ともに先進国と全く遜色ない。
- ・マレーシアの設備水準はほぼ、シンガポールと同等へ。タイは設備水準急上昇中。

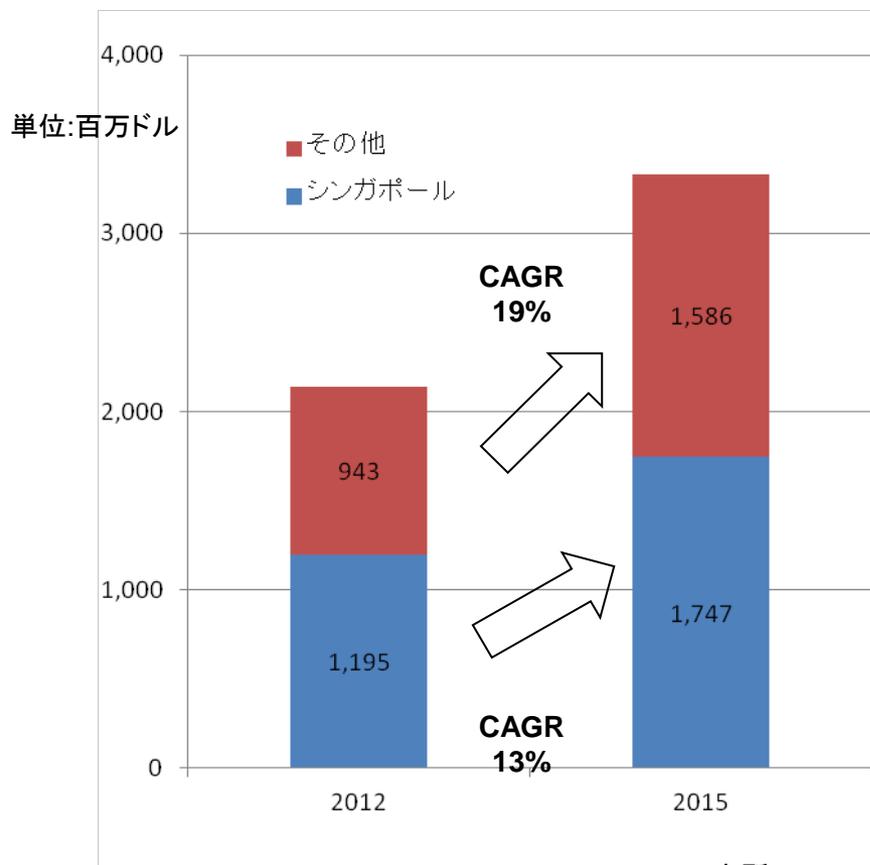
データセンタ、設備、立地の動向



# ASEAN各国のIT市場動向(4)

・シンガポール先行、ASEAN統括から、現地需要の立ち上がりに対応した二方向の取り組みへ。

ASEANデータセンタ関連市場予測



出所:NRI

- シンガポール市場も依然として成長段階が続く。域内統括需要の取込みは堅調。域内での市場地位は揺るがず。
- タイの隣接市場立ち上がり、マレーシア、インドネシア等の国内市場急成長等によって、シンガポール以外での市場も急成長。

## 企業別視点

### ■グローバルOTT

- 統括拠点としてのシンガポールの優位性は不変。
- シンガポールのバックアップ、タイ・ミャンマー等、インドネシアなどの地域大規模市場へのサブセンター立地が2013年以降、本格化している。

### ■顧客企業(製造、金融等)

- 統括拠点としてのシンガポールの優位性は不変。
- 製造業はタイ、マレーシア、インドネシア等の域内拠点強化の比率が高まる方向。

### ■現地資本DC事業者

- 自家需要主体の通信事業者と地域開発系事業者主体であったが、独立系データセンター事業者が、シンガポール以外でも存在感を高めつつある。4